

# オリエント化学工業

染料・顔料専門メーカーのオリエント化学工業は、高機能・高付加価値の徹底追求を事業戦略の柱に掲げる。同社は樹脂着色剤などに使われる黒色染料ニグロシンの世界最大手。用途に最適な処方での供給はもとより、

工法の最適化にも取り組んでいる。レーザーの透過・吸収に1種類の樹脂で対応できる溶着工法「ACW」を独自開発したのに続き、2016年にはハイブリッドLTW工

法を発表した。新たなレーザー溶着技術として提案活動に力を注ぐ。同社が50%超の世界シェアを擁しているニグロシンは、インテークマニホールドをはじめとする自動車部材が最大用途。欧州連合（EU）のATEX指令に代表されるように、世界的に防爆対策が強化されている。この

ため、粉体ではユーザーの製造工程を防爆仕様にする必要が出ている。オリエント化学は、ニグロシンのマスターバッチを供給し、ユーザーのコスト低減に寄与している。

## レーザー溶着に対応

自動車業界では、樹脂部品や部材の接合でレーザー溶着が主流となってきた。同社ではこれに対応し、エンジニアリングプラスチックへの最適化を図った樹脂用ニグロシン「eBIND（イーバイン）を進める。

新たに開発したハイブリッドLTWは、意匠性に優れた透過溶着法を進化させた工法。自動車部材で軽量化が進む流れを受け、リブやフランジが不要で薄肉化に適した工法として、マスターバッチと合わせプロモーションを進める。

## 車向けニグロシンに力